



公明党  
やまぐち  
山口  
こ恵子

# 子育てと仕事の両立に理解と支援を

その他の  
質問事項

- ▼ コロナ禍における農業支援について
- ▼ 災害タイムラインと避難支援・個別計画

## ◆不妊治療に理解を

**問** 不妊・不育症治療は経済的負担ばかりでなく、身体的、精神的な負担があり仕事との両立が課題となっている。国では助成制度拡充を検討しているが、本市の支援事業の対応は。

**答** 「天使のゆりかご支援事業」では、平成17年からの申請数は662人から約5割の方が無事出産をしている。事業は継続し、専門の相談窓口を紹介するなど支援を行う。

(健康づくり課)

## ◆保育士確保と多子支援

**問** 保育士不足と未満児の入園が課題。国の保育料無償化に該当しない世帯はきょうだいの数え方に制限があり保育料に影響する。負担軽減策を拡充する考えは。

**答** 保育人材バンク事業では34人が登録し13人を雇用した。未満児は民間事業所を含め令和3年度

は0歳児90人、1歳児213人、2歳児は254人の希望がある。市独自の第2子10%第3子以降20%減額を継続する。

(こども課)

## ◆消防団員の運転免許

**問** 道路交通法改正により平成29年3月12日以降に取得した普通自動車免許では、3・5トン以上のポンプ車が運転できない。準中型自動車免許の取得に対する支援が必要では。

**答** 消防団からの部長推薦により15万円全額を補助するために、2名分の予算を考えている。

(危機管理課)



消防団に配備されているポンプ車

# 免疫力アップでコロナウイルスに負けない

その他の  
質問事項

- ▼ 新型コロナの検査体制と検査費用の補助
- ▼ 松くい虫被害の現状と対策



市民派連合  
ふるはた ひでお  
古畑 秀夫

## ◆新型コロナ対策

**問** 免疫力を高めることは、感染症予防にもつながるので免疫力を高める生活習慣を市民に勧めていただきたい。

**答** 免疫力を高めるにはバランスのとれた食事、質の高い睡眠、適度な運動、ストレスの軽減などが効果があると言われていて、市民に分かりやすくホームページや広報等で広く啓発していく。

(健康づくり課)

## ◆交通政策について

**問** 地域振興バスの見直しはいつ行う予定か。また「のるーと塩尻」の導入との関係はどう考えているのか。

**答** 次回のダイヤ改正は令和4年4月を予定している。改正する際は、利用者アンケートや意見交換会での意見を参考に、利用者の利便性向上につながるようにしたい。「のるーと塩尻」の導入

は効率性や経済性を検証するなかで慎重に検討を進めていく。

(都市計画課)

**問** 洗馬地区から要望の出ている、市道の洗馬小学校から奈良井医院までは交通量も多く、通学路でもあるので道路拡幅していただきたい。

**答** できれば5月の連休までに整備したい。

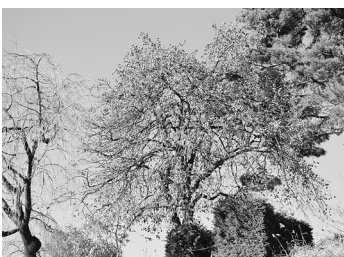
(建設課)

## ◆鳥獣被害対策

**問** 鳥獣を里に寄せ付けない緩衝帯整備と生ごみや柿の木等の適正な処理の呼び掛けの考えは。

**答** 市民に呼び掛けるとともに整備を進めていく。

(森林課)



収穫されない柿